

第 3 回旧 R D 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 25 年 10 月 22 日 (火) 19:00～21:40

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■議事および結果

1. 前回の開催結果について

①掘削量の減少について

- ・二次対策工事の協定に同意したのは、底面遮水に伴い埋立て量の約 3 分の 1 を掘削して場外搬出されるからであり、掘削量の減少は納得できない。
→これ以上掘削しないという訳ではなく、皆さんのご要望を尊重し、今後、基準を超えた廃棄物土やドラム缶等が発見されれば掘削除去しますと、回答しました。

②底面遮水について

- ・粘土層の破損部分はどのように確認するのか、具体的に説明してほしい。
→請負業者による施工計画が出来た段階で、改めて説明しますと回答しました。
- ・既存の粘土層の厚さはどの程度必要なのか。セメント改良土による底面遮水工は 1 m としているのに、25 センチというのは薄いのではないか。
→透水係数の測定の結果、既存の粘土層は 25 センチ以上あれば大丈夫と考えています。さらに施工時に現場および室内試験を行いながら粘土層の確認を行いますと回答しました。

③TRD 工法について 別紙 資料 1-1

- ・劣化の因子は何か。→調べますと回答しました。
- ・硫酸イオンが多いが大丈夫か。→調べますと回答しました。

2. 平成 25 年度第 1 回モニタリング結果について

- ・H24-S2 (2) (ks3) の地下水は廃棄物土層の影響を受けているから分かるが、H24-S2 (ks2) の地下水は深いほうなのに、ヒ素、1-4 ジオキサンが環境基準を超えている。原因は何か。
→原因については不明です。経過を見させていただきたいと回答しました。
- ・平成 23 年度から各数値が大幅に下がっている。採水方法の変更の結果であるのなら、そのことを注釈に詳しく書くべきである。
→今後、明記させてもらいますと回答しました。
- ・経堂池の底泥の検査について県に度々要望しているが聞いてもらえない。経堂池の水を使って稲を栽培し、コメの検査をしてもらうなど、問題の解決を図ってほしい。

→過去、稲の栽培試験や底泥調査を実施し、問題ないことを確認しているが、問題解決のためどのような方法があるか、勉強させていただきたいと回答しました。

3. その他

①台風による被害について

・法面の崩落等について、ただちに北尾団地だけでなく各自治会長に連絡すべきである。

→今後、そのようにさせていただきますと回答しました。

②次回の開催日程について

11月27日(水)に決定しました。